

認知症について定期的に話せる場

もの忘れ相談

認知症に関する相談をなんでもお受けします。知識・経験が豊富な専門職と一緒に考え対応いたします。

- 個別相談・無料
- 随時（訪問相談も可）
- 問い合わせ：地域包括支援センター
（電話 275-8784・昭和町総合会館内）

言っぱなし聞きっぱなしカフェ

認知症の方や、介護をしている方、介護経験者、認知症に関心のある方等が、お茶を飲みながら自由に集える場です。

- 集団・ミニ講座あり（予約不要）
- 参加費：100円
- 毎月第4金曜日
13:30～15:00
- 場所：昭和町総合会館内
- 問い合わせ：地域包括支援センター
（電話 275-8784・昭和町総合会館内）



昭和町認知症伴走型支援拠点 ひばり

認知症伴走型支援拠点とは、昭和町にお住まいで、認知症の診断を受ける前の方、または認知症の方とその家族が継続して相談できる場です。なんでもお話しください。

- 個別相談・無料
- 毎月第2・第4木曜日 13:30～15:30
（※電話相談は随時 平日 9:00～16:00）
- 問い合わせ：ひばり苑
（電話 275-9511・昭和町飯喰 1277）



本人カフェ（要予約）

認知症と診断された方が集い、本人同士で自らの体験や希望、必要とされていることを自由に語り合う場です。まずは個別で思いをお聞きします。安心してご連絡ください。

- 個別／集団・いずれも無料
- 随時（訪問相談も可）
- 問い合わせ：地域包括支援センター
（電話 275-8784・昭和町総合会館内）



●昭和町認知症伴走型支援拠点 ひばり （介護老人保健施設ひばり苑内）

☎ 055-275-9511

昭和町飯喰 1277（相談時間：上記記載）

●山梨県認知症コールセンター

☎ 055-254-7711

（年末年始、祝日除く）

月曜日～金曜日 / 13時～17時

●山梨県若年性認知症相談支援センター （日下部記念病院内）

☎ 0553-22-2212（年末年始、祝日除く）

月曜日～金曜日 / 10時～15時

相談窓口

●昭和町 地域包括支援センター

（昭和町役場 福祉介護課内）

☎ 055-275-8784

昭和町押越 616（総合会館内）

昭和町 認知症初期集中支援チーム

病院にかかれなくても、専門家の助言を得たい！
というときに、医療・福祉・介護の専門職がチーム員として、
おおむね6か月を目安に集中的に支援します。

お気軽にご相談ください！

発行元 昭和町地域包括支援センター 昭和町役場 総合会館1階 TEL 275-4815 または 275-8784

しょうわ町

地域包括支援センター

虹のかげはし

高齢者のみなさまや、そのご家族の相談窓口です。

No.16

発行：令和7年2月27日

認知症とともに 生きる



デイサービス
りばーはうす ひだまり



山梨県民信用組合
昭和支店



昭和町役場
総合会館



にいな歯科医院



山梨信用金庫
昭和支店



昭和郵便局



第一生命
甲府南営業オフィス



介護老人保健施設
ノイエス



訪問介護 ゆらぎ



イオン薬局
甲府昭和店



介護老人保健施設
ひばり苑



山梨中央銀行
昭和支店



ケアプラザ昭和



国母駅前郵便局



特別養護老人ホーム
昭寿荘

全20事業所の協力事業所と
ともに町内各地でオレンジの
花を咲かせました！

（2024年9月の認知症月間）

*協力事業所は認知症サポート事業の協力店

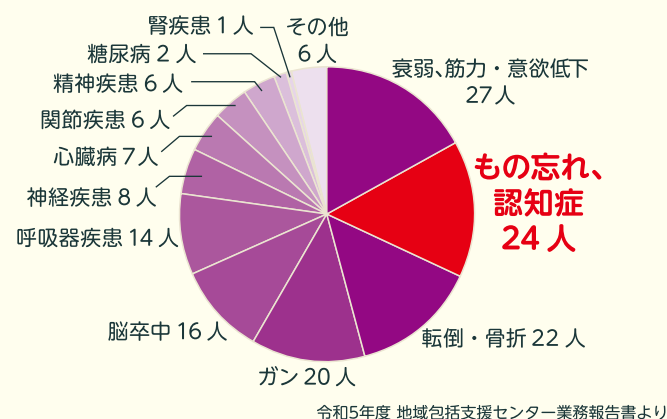
めくって
読んで♡

いま、認知症について知りたい！

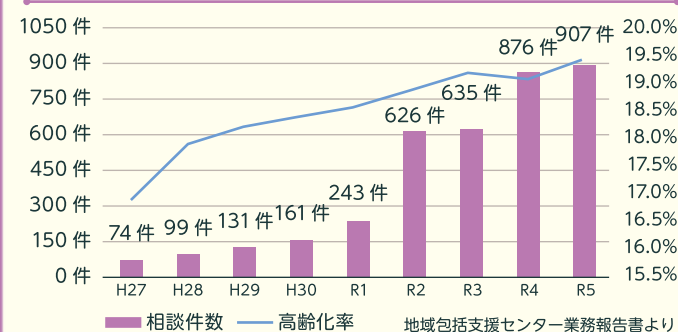


昭和町の現状も見てみよう！

令和5年度 介護・総合事業の申請理由



認知症に関連する相談件数と高齢化率の推移



認知症の有病率は、年齢とともに増加します。
つまり、高齢化が急速に進む社会の中で、誰もがなり得る「自分ごと」として考えていく必要があります。

令和6年1月 共生社会の実現を推進するための

認知症基本法 が施行されました！

古い認知症観

認知症になったら何もできなくなる。
何もわからなくなる。
認知症になったら人生終わりだ。

ポイントは「新しい認知症観」

ならないように予防する時代から
「誰もがなり得るもの」と備える時代へ

新しい認知症観

認知症と診断されたからと言って、何もできなくなるわけではない。
認知機能は低下するかもしれないが、すべてを忘れるわけではない。
何も理解できなくなるわけではない。

認知機能の低下に理解ある環境や支援があれば、
生きがいや希望、尊厳をもってその人らしく暮らすことができる。

認知症があってもなくても 今、あなたにできること

何度でも受けてほしい

●認知症サポーター養成講座

昭和町では、新しい認知症観を知る機会として、年に数回サポーター養成講座を開催しています。ぜひご参加ください。(お仲間数名でも開催いたします！まずはご相談を)

- 問い合わせ：地域包括支援センター(電話 275-8784)
- 講座修了者にはサポーターの証として下記のようなサポーターカードが受け取れます！

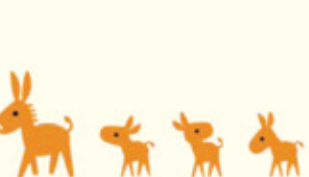


●キャラバン・メイトになろう！

仲間募集中！

認知症に関する活動がしたい！養成講座と一緒に取り組みたい！というボランティアを募集しています。県で行われる講座を受講後、一緒に活動する仲間となって活動していただきます。ぜひ一緒に町を盛り上げましょう！

- 問い合わせ：地域包括支援センター(電話 275-8784)



昭和町では、3年前から本人の声を聞いた取り組みを開始しています！

ご本人と一緒に・地域と一緒にの取り組み



本人カフェ、本人ミーティング



チームオレンジ

オレンジガーデニングプロジェクト



認知症のことを知るための取り組み



サポーター養成講座(押原中2年生、住民のみなさま)



認知症月間(9月)



何を言っても認知症の症状と言われるので、話すのが嫌になった。何を言ってもダメだとあきらめて話さなくなったら、言葉が出にくくなった。

脳に働きづらい部分が生じて、苦手になることもある。

できることはたくさんある。やれることはやりたい。

クスリを飲むとめまいがして、いつもより調子が良くない。そう言ったら、薬の拒否があると言われて悲しかった。飲む飲まないも相談に乗ってほしい。

認知症の当事者の声

買い物や掃除、洗濯に時間がかかる。子どもに頼っていいと言われるけど、やれることはできるだけ自分でやりたいんです。

色々できなくなっているのが、わかる。できる方法を一緒に考えてほしい。

病院に行きたくない。医者も(認知症の人)と決めつけて話をするから、いやになる。

認知症があってもなくても暮らしやすいまち 昭和町

現在、認知症と診断されてから、自分の思いや生活の工夫を話してくれる人が増えました。認知症当事者の方の声をヒントに、認知症とともに生きることを考えてみましょう。

▶こちらもチェック！▶認知症本人大使「希望大使」▶

